

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2005-257111(P2005-257111A)

【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2004-66411(P2004-66411)

【国際特許分類】

F 22 B 37/38 (2006.01)

F 22 B 37/56 (2006.01)

【F I】

F 22 B 37/38 E

F 22 B 37/38 C

F 22 B 37/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月20日(2007.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

内部にためた水を加熱することで蒸気を発生するボイラであって、定期的に全ブローを行うことで濃縮したボイラ水の入替えを行っているボイラにおいて、ボイラ水の中に電極を設けることでボイラ水を通して流れる電流から抵抗値を測定する抵抗値測定装置を設け、抵抗値測定装置によってボイラ水の未濃縮状態における抵抗値と、ボイラ水の濃縮状態における抵抗値を測定するようにしており、さらに抵抗値測定装置で測定した未濃縮状態抵抗値と濃縮状態抵抗値を比較する変化量算出装置を設けておき、変化量算出装置は、未濃縮状態抵抗値と濃縮状態抵抗値の差を今回値として算出し、今回値が所定値Aを下回る場合にはボイラ内にスケールが付着していると判定することを特徴とするスケール付着有無の判定を行うボイラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項1に記載の発明は、内部にためた水を加熱することで蒸気を発生するボイラであって、定期的に全ブローを行うことで濃縮したボイラ水の入替えを行っているボイラにおいて、ボイラ水の中に電極を設けることでボイラ水を通して流れる電流から抵抗値を測定する抵抗値測定装置を設け、抵抗値測定装置によってボイラ水の未濃縮状態における抵抗値と、ボイラ水の濃縮状態における抵抗値を測定するようにしており、さらに抵抗値測定装置で測定した未濃縮状態抵抗値と濃縮状態抵抗値を比較する変化量算出装置を設けておき、変化量算出装置は、未濃縮状態抵抗値と濃縮状態抵抗値の差を今回値として算出し、今回値が所定値Aを下回る場合にはボイラ内にスケールが付着していると判定することを特徴とするスケール付着有無の判定を行うボイラである。